

## 平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」【テーマB】学生支援推進プログラム

目標管理シートによる自学自律学習とサポーターによる個人指導

戸板女子短期大学  
キャリア学習センター

本学が取り組む入学時からの学生支援、学生就職支援が文部科学省の学生支援推進プログラムに採択されました。

キャリア学習センターは、自学自律する人材育成、自己判断力強化、基礎学力向上を目指し、短期大学士として社会人に必要な社会力を養成するためのプログラムを授業と連携しながら取り組んできました。

取り組みの3つの柱

### 自学自律・自己判断力強化

目標管理シートの作成と個別指導、活動の振り返りをするための個人面接の実施。

### 就職力強化

就職試験対策として就職対策・SPI対策講座の開講、就職意識を向上させるためのセミナーの開催。

### 指導力強化

指導者（クラスアドバイザー、キャリア学習センター職員、学習支援助手ほか全教職員）の指導力強化のための研修。

これらを体系的に実施し、質の高い相談指導をするための体制をつくり、学生満足度向上を図るとともに不況で就職が厳しい中、一人でも多くの学生が希望の進路に進めるようプログラムを展開いたしました。

## 実施報告

### 自学自律・自己判断力強化

#### ① 目標管理シート面談の実施

「目標管理シート」とは、学生が自分のキャリアと将来像について考えるための成長記録である。まず学生は、入学時に将来何になりたいか自分で目標を設定する。その「将来像」に近づくために何をしたらよいかを面接を通じシートに記入する。半年後に再度面接を行い、入学時に



立てた目標をどこまで達成できたか、また次の半年間では何を目標にするのかを検証し、追記していく。自分の目標がどれくらい達成できたのかを卒業までに数回検証し、将来の夢、実現のために学生生活を充実したものにしていく。なお、実施は平成21年度入学の1年生を対象とした。

#### ○実施概要

##### 第1回実施

全1年生を対象に5月から6月の間に「1年前期の目標」「キャリア学習センターの利用方法」について個別面談を行った。

学生とのコミュニケーションを図ることで信頼関係を築き、「目標管理シート」の意義と目的を話した。その他、学生生活の状態を聞くことにより、個々の学生との信頼関係を築くことができた。

##### 第2回実施

10月～11月の間に「1年前期の振り返り」「1年後期の目標設定」「卒業後の進路について」を行った。目標達成の進捗状況を聞き、進路登録を確認した。「後期の目標設定」をする際に、面談で「卒業後の進路について」を聞き、個々の希望にあった目標を再設定するためのアドバイスをを行った。

#### ○具体的な成果

1. 就職に対する構えができ、希望する業界の調べ方、就職試験に向けての相談件数が増えた。
2. エントリーに関する質問・相談の増加とともに、1年生からの早めに就職活動を行う学生が増えた。
3. 学生の志望を早期に把握することにより、適格なアドバイスが可能になった。
4. 従来と比べ、キャリア学習センターの1年生の利用率が高くなった。このことで、就職活動が早期より開始される効果があった。

### 就職力強化

#### ② 基礎学力養成講座の実施

基礎学力養成講座として、筆記試験（SPI試験）の非言語問題対策講座を行った。

#### ○実施概要

時間 木曜9・10時目（食物栄養科は、同日18:00～19:30）

開講 2コマ×13回 計26回

内容 テキスト、問題を毎回作成し、講義を行った。

#### ○具体的な成果

講座を長期的に毎週行うことで、短期では難しい基礎学力の向上を図ることができた。

また、次年度4月に実力テストを行い評価し、結果を出す予定である。

この実力テストは、1年生入学時、2年生進級時の基礎学力を測定するテストで、

全国平均、学内平均と個人の成績を相対比較する予定である。

③ キャリア学習センターにて学習支援（基礎学力担当講師常駐による随時相談対応）

個々の学力、就職状況に応じた個別指導のため、学習支援助手がキャリア学習センターに常駐し、下記内容の指導を行った。

○実施概要

- 数学系学習支援助手 毎週 月、火、木  
指導内容

数学、理数系分野、SPI非言語対策全般セミナー、基礎学力養成講座でわからない点を個別指導したり、就職試験対策の指導をした。

- 国語系学習支援助手 毎週 水、金  
指導内容

国語、時事問題、エントリーシート指導、SPI言語対策全般。



○具体的な成果

授業ではなかなか実施することが難しい個々の能力、就職活動に応じた指導ができた。毎日指導することで学生との信頼関係が構築できた。この個別指導は夏期セミナー、春期セミナーと連動しており、課題の添削、再指導を行っている。

④ 就職対策講座開催

就職氷河期と呼ばれる今年度において、まだ内定の出していない2年生、これから就職活動に入る1年生に対し、就職への意欲向上、エントリーシートの作成術、面接の心構えを指導した。

○実施概要

講師 野口英雄先生（大原法律専門学校）

開講 全3回

対象 第1回は授業、第2、3回は自由参加

○セミナー内容

- 第1回就職支援セミナー

9月24日（木） 10:40～11:50 「職業とライフデザイン」授業にて開催。

これから就職活動に望む心構えをわかりやすく説明し、「楽しんで就職活動する」ことのテクニックの指導があった。

- 第2回就職支援セミナー

10月14日（水） 18:00～19:00

筆記試験の突破法、エントリーシートの効果的な書き方・活用方法を伝授。企業

が見るポイントを踏まえて、通過するエントリーシート・履歴書作成の極意を指導した。また、面接試験の基礎について説明があった。

●第3回就職支援セミナー

10月20日(火) 18:00~19:00

受かる面接・落ちる面接のパターンを紹介し、どうしたら自分らしい面接ができるか指導した。特に、集団面接・人事面接の細かいテクニックと心構えの説明があった。

○具体的な成果

第1回就職支援セミナーでアンケート実施したところ回答者83名中79名が参考になったとの回答があり、学生の評価が高かった。この講座は、教員にも評価が高く、次年度も継続することとした。

⑤ 夏期基礎学力・就職セミナーの開催

夏期休暇中の集中講座として9月7日(月)から9月16日(水)の8日間開催した。

内容は、計算力&判断力アップ講座、SPI言語対策、就職試験対策数学(SPI非言語対策)とパソコン講座の4分野に分けて行い、全27講座を開講した。

○実施概要

●計算力&判断力アップ講座4回、就職試験対策数学4回

●SPI言語対策講座3回

●SPI就職対策講座2回

●パソコン講座4回

○具体的な成果

就職試験、ひいては社会へ出て必要な計算力、判断力、数学、文書作成、PCスキルを集中的に学習することで基礎力向上、就職への基礎体力を養うことができた。

夏期の中に時間をかけて行うことは大変意義があった。計算力&判断力アップ講座は出された課題が全問正解するまで、何度もやり直しをさせたため、個々の弱点を理解し克服させることができた。

⑥ 職業適性・強み発見検査試験の実施

強み発見検査試験は、学生の価値観や志向が、実際に働いている社会人140職種、2万人の価値観、志向データから、どの職種の人と似ているか、適合度順に職種を示すもので自分と価値観を同じくする人が働く職種はなにかを理解し、個々の就職活動の参考にするものである。

○実施概要

開講 全2回(2グループに分けて実施した。)

対象 1年生全員

・前半グループ 食物栄養科B&国際コミュニケーション学科

10月21日基礎ゼミ授業にて学生へ告知、10月21日～11月15日まで各自PCにて受験し、11月21日基礎ゼミにて結果解説セミナーを行った。

・後半グループ 食物栄養科A&服飾芸術科

11月5日基礎ゼミ授業にて学生へ告知・受付、11月5日～12月7日まで各自PCにて受験し、12月17日基礎ゼミにて結果解説セミナーを行った。

○具体的な成果

受講者のうち98名にアンケート調査をしたところ、自分の自己分析に役立ちそうかの質問に対し、そう思うが53名、ややそう思う34名、どちらでもない5名、あまりそう思わない4名、そう思わない0名であり、全体の91%の学生がそう思う、ややそう思うという結果となった。従来この時期は志望する業界、職種を明確に決めている学生は少なかったため、就職への取組意識に一層の向上が図られた。

⑦ 春期基礎学力・就職セミナーの開催

2011年卒採用試験就職・進学対策として春期セミナーを開催した。

春休み期間中の集中講座として2月18日（木）から2月26日（金）の7日間開催した。

内容は、計算力&判断力アップ講座、就職試験対策講座、SPI対策講座の3分野に分け、全21講座を開講した。

○実施概要

- 計算力&判断力アップ講座7回
- 就職試験対策講座7回
- SPI対策講座7回

○具体的な成果

これから就職に向けて1年の春期に筆記試験対策を行い、自信をつけることは大変有意義なことである。全問正解するまで反復学習させる効果は大きかった。

指導力強化

⑧ 就職支援・面接指導のための教職員研修

クラスアドバイザー、教員、助手、教務、学生課、キャリア学習センター職員など学内で学生と接する全教職員を対象に学生と良好な関係を築くための研修を行った。

「学生との良好な関係構築を目指すためのカウンセリング」「メンタル面で配慮すべき学生との接し方」の2講座については、全学の教職員が受講するよう、FD・SD委員会の研修会として開催した。

○実施概要

開講 全6回

対象 キャリア学習センター職員及び、全教職員

1. 学生との良好な関係構築を目指すためのカウンセリング

講師 渡辺 三枝子先生  
立教大学大学院  
ビジネスデザイン研究科  
特任教授

開催 12月17日（木）  
18:00～19:00

- 内容 「学生と接する場合、よい関係をつくること  
目的となっていないか。



良い関係ができれば学生を自律させるべきである。目的は、自律させること  
であり、離れていくことである。」という内容の講義を受けた。

2. キャリアアセスメント活用研修

講師 近藤 賢先生 (株) リアセック

開催 1月7日（木） 13:00～16:00

- 内容 11月に行った適正診断テスト（R-CAP）・強み発見テスト（ストレングス）の診断結果の見方、指標の理解。結果を基にした学生への指導方法のレクチャーを受けた。

3. 女性のための就労問題について-雇用環境を踏まえて-

講師 徳永英子先生 (株) リクルートワークス研究所 研究員

開催 1月21日（火） 18:00～19:00

- 内容 本学卒業生が社会に出て働いていく際に知っておくべき労務関連の知識、結婚、出産、産休、介護など女性のライフイベントを理解する。

4. キャリアカウンセリング基礎研修

講師 堀越 弘先生 (株) リクルートマネジメントソリューションズ

開催 2月16日（火） 9:30～17:30

- 内容 キャリアカウンセリングとは学生一人一人の生き方や進路等の選択に関する悩みを受け止め、学生が自らの意志と責任で進路を選択・決定することができるようにするための援助である。受講生が聞き役、学生役となってロールプレイングなど実習を交えて行った。

5. メンタル面で配慮すべき学生との接し方

講師 牧 由美子先生 東神田クリニック医長

開催 2月18日（木） 18:00～19:30

- 内容 思春期に多い症例、メンタル面で配慮すべき学生との接し方を学んだ。

6. コーチング研修

講師 山田 博先生 C T I ジャパンコーチング コースリーダー

開催 3月12日(金) 9:30~17:30

内容 カウンセリングとコーチングの違いはなにかを学んだ。また、積極的傾聴の重要性を学習した。自らが学生をどのように見ているかを認識し、違った見方で学生に接するとどのような指導になるか体験しながら研修を行った。

○具体的な成果

これらの研修をキャリア学習センターだけでなく研修の一部を全学で実施したことは、教職員の学生に対する意識変化、カウンセリング術向上という観点から非常に有意義な研修であった。

その他の取り組み

⑨ 取り組み事業報告

事業報告は、10月より本学ホームページにて公表している。報告書は広く興味を持つ方々へ認知していただくことを目的にホームページにて公表することとした。本学の事業の取り組みは、インターネットサイトの「大学情報net.短大の就職力特集サイト」においても取り上げられ、公開されている。(2010年3月末まで掲載)

以上、平成21年度における学生支援推進プログラムの実施報告です。

これらの取り組みを行ったことで、2年生の就職支援強化、1年生の就職へ向けた基礎学力、就職意欲の向上につながりました。次年度はこの方針を継続し、取り組みを強化していきます。